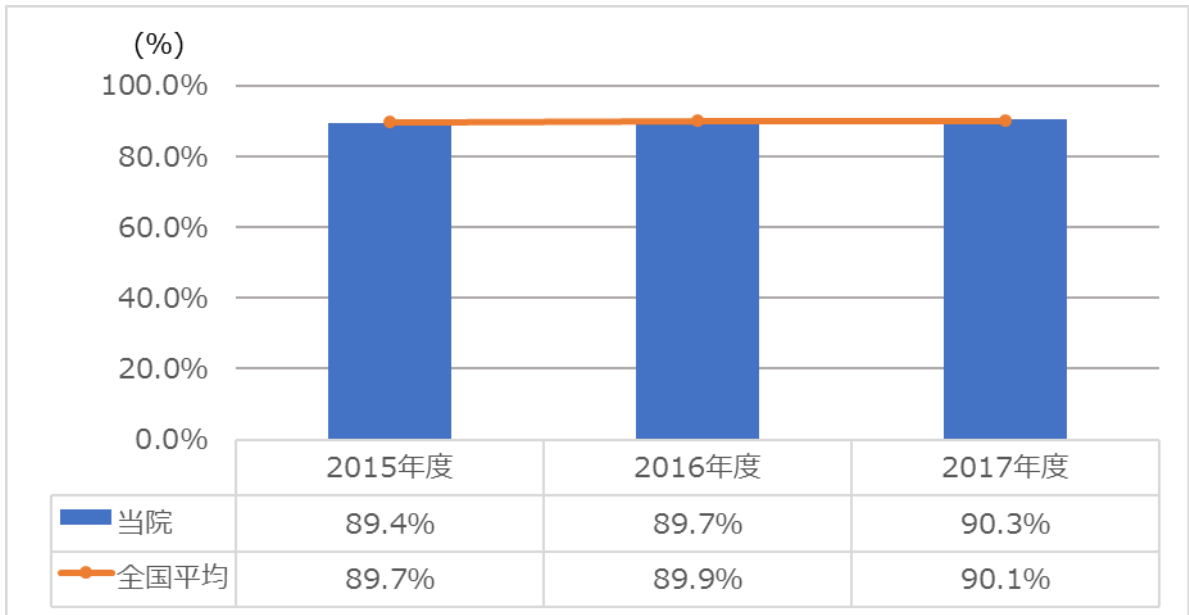


指標 2 2 救急搬送により入院した症例の救命率（31 日後生存/救急搬送入院）



<定義>

分子	：	分母のうち、生存退院もしくは入院日数が 31 日以上であった症例数
分母	：	救急搬送により入院した症例数
期間	：	2015 年度～2017 年度（1 年毎に集計）
対象	：	上記期間の退院患者
値の解釈	：	高い方が望ましい

<解説>

当院は鹿児島県全土の救命救急センターとして、鹿児島の救急医療を支えるために日々邁進しています。近年はドクターヘリ・ドクターカーの基地病院、すなわち「鹿児島県、最後の砦」として県全土の重症傷病者へ適切かつ効果的な治療介入ができるようスタッフ一同努力しています。より高度の医療を必要とする傷病者が集まるため、医療体制の充実と指標の改善が必ずしも比例しない中でも、全国レベルを維持しているのが本指標の解釈になりますが、さらなる向上を目指してまいります。

※ 本データは厚生労働省提出用の D P C データを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院の QIP 参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIP における計測結果）